

### Inbound Security for Microsoft 365導入により、堅牢なインバウンドセキュリティ対策を短期間で実現

国際貨物を取り扱うケイライン ロジスティクスでは、業務上常に多くの国や地域との連絡・情報通信が絶えない。そのため、グローバル環境におけるセキュリティ脅威にさらされることにもなる。同社は従来からクラウド型のセキュリティ製品を利用していたが、必要なセキュリティレベルを維持するのが徐々に困難になってきたため、新たに「Inbound Security for Microsoft 365」(以下、IS365)の導入を決断し、セキュリティ上の課題を克服した。



課題	<p>従来利用していたセキュリティ製品のサポートのスピードや品質に不安があった</p> <p>本来検知しなければならない不審なメールがすり抜けてくるが多くなってきた</p> <p>利用頻度が増えてきたMicrosoft Teamsなどメール以外のMicrosoft 365製品へのセキュリティ対策も検討する必要ができた</p>	効果	<p>キヤノン製品への切り替えで、迅速かつ的確なサポートを受けることができるようになった</p> <p>IS365導入時の検証と適切なポリシー設定により、不審なメールを的確に検知できるようになった</p> <p>IS365導入によってTeamsやSharePointなどMicrosoft 365全体のセキュリティを強化することができた</p>
----	---	----	--

#### <お客さまプロフィール>



航空および海上貨物輸出入業務を代行することで、グローバル物流の効率化・迅速化に貢献。新たな中期計画において、産業別組織への再編による顧客接点のさらなる拡充や、顧客のサプライチェーンを可視化する取り組みなどに挑戦しています。

また、AS9210や各種認証の取得によるコンプライアンスとガバナンスの強化などによる経営基盤強化も図っています。

#### お話を伺った方



写真左上から、村松様、持山様  
写真左下から、浦底様、君塚様

情報システム部 部長(※取材当時)  
"K" LINE LOGISTICS(HONG KONG)LTD.  
Managing Director(※現職)  
村松 広司様

情報システム部 システム2課 課長  
持山 友美様

情報システム部 システム2課  
浦底 智恵様

情報システム部 システム2課  
君塚 惇季様

#### 導入前の課題と背景

サポート品質の低下と「すり抜け」の発生により既存製品の切り替えを検討

以前からクラウドタイプのセキュリティ製品をお使いだったとお聞きしていますが。

「はい、外部からの受信メールの検疫やフィルターの設定ができるクラウドタイプのメールセキュリティ製品を使用していました。しかし、製品を提供していた企業環境が変化したことが原因で、ユーザーサポート体制が大きく変わり、また、サポート向けのドキュメント類も複雑であり、問い合わせのハードルが高くなってしまったことで製品の切り替えの検討を始めるようになりました」(持山様)

性能面では問題なかったのでしょうか。

「日々新たなスパムメールが発生する中で、セキュリティ上の脅威は常に変化しています。そのような背景もあり、本来は検知しなければならないようなメールがすり抜けてしまうことが徐々に多くなってきました。先ほどのサポートの件と併せて今が切り替えの時期なのではないかと判断しました」(持山様)

#### 導入の必然性

サポート体制の充実とAPI連携による導入のしやすさが決め手

今回のような点を評価しIS365をご採択いただいたのでしょうか。

「まず重視したのがサポート体制です。IS365ではキヤノンから直接サポートが提供されるため今までより回答を早く得ることができるようになりました。また、機能面ではAPI<sup>※1</sup>で実装できることが大きなポイントとなりました。API対応ではない場合は導入が大掛かりになり、本業務への影響を考慮しながら慎重に進めなければなりません。しかしAPI実装によって導入時のハードルが格段に下がります。セキュリティ製品切り替えのためにさまざまな製品情報収集をしている際、普段お付き合いのある扶桑電通様から、当社ニーズにマッチしたIS365を紹介いただき採択を決めました」(浦底様)

「IS365は、単純にコストだけで比較すると必ずしも安価だとは言えません。しかし、他サービスの多くはセキュリティチェックの対象が受信メールのみのところ、IS365ではMicrosoft 365環境全体のセキュリティを強化することができます。そういった対応範囲が広いことを考慮すると、

十分に費用対効果が高いと判断しました」  
(持山様)

※1 API (Application Programming Interface) アプリケーションなどの機能呼び出すために定められた手順。APIで呼び出すことでその機能を容易に共通利用できる。

運用の工夫

すり抜けメール対策も万全。迅速なサポートで1ヶ月で立ち上げ

リリースの準備はどのように進められたのでしょうか。

「トライアル期間を設けていただいたので、その期間中にさまざまな検証とポリシー作りを行いました。特に既存サービスのセキュリティをすり抜けてくるメールを確認してポリシーに反映したり、スパム以外でもさまざまなところからくるメールマガジンなども一旦隔離対象にしたりするなど、検知精度を上げるための検証作業を実施し、セキュリティポリシーを作り上げていきました。」(浦底様)

「リリース準備は検証期間を含めて約1カ月。既存サービスからの切り替えはとてもスムーズでした。1度切り替えに失敗しかけたのですが、すぐに切り戻して原因を調査・解決しリトライできたので、業務などへの影響はありませんでした。、キャノン側のサポートもしっかりと対応いただきました。メールで質問しても想像以上にレスポンスが早いので、即座に疑問を解決することができました」(持山様)

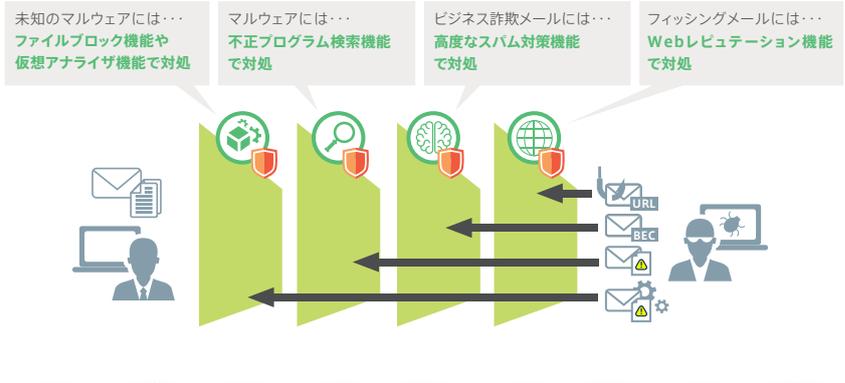
取り組みの成果

IS365の導入が個人情報保護やMicrosoft 365全体のセキュリティ強化につながる

IS365の導入は御社のセキュリティ環境にどのような変化を及ぼしましたか。

「特に今回は不審なメールやURL、ファイルをユーザーが誤って開いてしまわないようにすることに焦点を絞って対策を講じました。セキュリティポリシー違反が発生した場合はまずユーザーに通知されます。そのユーザーからの申告によって我々

サービスイメージ



が管理コンソールで状況確認し、随時キャノン側のサポートと連携して最終的に原因を特定します。従来はメールのみが監視対象でしたが、今回のIS365導入によってTeamsやSharePointなどMicrosoft 365全体にまで対象を広げることができました。Teamsなどによるお客さまとのデータ共有や受け渡しが増えてきており、これらに対してもメールと同等のセキュリティ対策を実施することが重要になってくると考えています」(君塚様)

「それに加えてIS365は個人情報保護にも貢献しています。個人氏名や各国で使用されている個人を特定する番号などを一定量以上含むファイルをアップロードするとログを採取するように設定しています。仮に誤送信などが発生した場合、このログから追跡することができるので素早く事態を収拾することができます」(持山様)

セキュリティ対策やIT環境などに関する今後の方向性を教えてください。

「今回IS365導入によってインバウンドに対するセキュリティ強化することができました。次のフェーズとしてアウトバウンド対策、例えば誤送信対策などをより強化していきたいと考えています。Microsoft 365からメールやファイルを送信する際に、経路上でそれらをチェックするなどの方法でセキュリティを担保できるようなソリューションを、キャノン製品も含めて導入する方向で検討しています」(持山様)

「当社は海外の各拠点で異なった基幹システムを採用しており、これらをグローバルで統一して、セキュリティポリシーの共通指標も設けていきたいと考えています。これによって日本から効率的にマネジメントできるようになれば、より強固なIT基盤が築けるのではないかと思います」(村松様)



扶桑電通株式会社 ソリューションビジネス本部  
第一販売部 第一販売課 課長代理 河西 浩之 様

今回新たなセキュリティサービスご検討のお話を伺い、お客さまの課題解決に最適なIS365をご紹介できました。同サービス導入により、機能面に加えてコスト面でも十分にメリットをご提供できたものと考えています。今後も引き続きお客さまから選ばれるビジネスパートナーとして誠心誠意取り組むのももちろん、セキュリティ強化やAIなどの先端技術を活用したソリューションを、ケイライン ロジスティックス様をはじめさまざまなお客さまへの提案を積極的に行ってまいります。

お問い合わせ先

Canon キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON S TOWER

canon.jp/it-sec